

野洲市民病院整備事業特別委員会 次第

令和元年11月13日(水)

午前10時から

本館3階 第1委員会室

1. 開 会

2. 委員長 あいさつ

3. 市長 あいさつ

4. 付議事件

(1) 市立野洲病院の運営状況等について

(2) 野洲市民病院整備工事について

5. その他

6. 閉 会

市立野洲病院の運営状況等について

1) 課題

開院後、目標としていた病床稼働数(160床/199床)が大きく下回っている。

※ 結果的に想定している医業収益(今年度予算)が未達となる可能性が高い。

① 病床稼働数及び稼働率

		目標	7月	8月	9月	10月
病床稼働数	最高	160床	132床	132床	126床	124床
	最低		112床	117床	104床	101床
病床稼働率		80%	64%	65%	60%	58%

② 診療科単位の病床稼働数

			目標	7月	8月	9月	10月	医師(※)
病床稼働数	内科	最高	73床	72床	76床	64床	61床	5名
		最低		56床	61床	55床	52床	
	外科	最高	20床	18床	15床	13床	13床	2名
		最低		9床	9床	8床	8床	
	整形外科	最高	24床	18床	18床	18床	20床	2名
		最低		10床	9床	13床	12床	
	泌尿器科	最高	10床	6床	6床	10床	8床	2名
		最低		3床	3床	3床	2床	
	回復期リハ科	最高	33床	30床	30床	27床	28床	1名
		最低		25床	24床	20床	19床	
	眼科	最高	0~5床	5床	5床	5床	4床	0名
		最低		0床	0床	0床	0床	

※ 医師は常勤医師数。

2) 原因分析及び評価

本院で受入可能な患者が他病院に流出。(市民が不便宜を被る)

① 院内の幹部会議において原因分析<7月中旬>

- ・ 診療所からの紹介や救急患者について、入院受入可能であるのに断っていたことが原因の一つではないか。

② 院内の幹部会議において評価<10月>

- ・ 8月以降も診療所からの紹介や救急患者について、常勤医師による断り事例があり病床稼働率が低下している。この状況が続くと経営が成り立たない。
- ・ 大多数の職員が旧御上会の職員(任用は公募で試験採用)であり、経過措置として野洲病院業務フローを暫定的に踏襲した。しかし、このことが旧病院の悪い風土を残すこととなり、公務員となったことでより助長され、病院全体の士気低下を招いた部分がある。
- ・ 市立病院として、市民のための病院であるということの職員に対する意識改革と実践につなげていく病院長のリーダーシップが発揮されていなかった。

3) 対策について

▼基本方針

- 外来患者への対応
非常勤を含む担当医師に対する一定の働きかけ
- 救急患者への対応
《日勤帯》
原則断らない
《日勤帯終了後及び休日》
ケースにより対応
- 診療所からの紹介対応
原則断らない

▼病床稼働数160床に向けた常勤医師への目標設定

各医師毎に入院受持ち患者数の目標を設定。

※ 病院長による常勤医師面談を実施し、個別目標を病院長と担当医師で共有化。

診療科	目標	常勤医師	目標	診療科	目標	常勤医師	目標
内科	73床	A医師	25床	外科	20床	G医師	10床
		B医師	20床			H医師	10床
		C医師	8床	整形外科	24床	I医師	12床
		D医師	10床			J医師	12床
		E医師	10床	泌尿器科	10床	K医師	10床
回復期リハ	33床	F医師	33床	眼科	0～5床(プラスα)		

4) 対策後の現状について

▼医師別入院患者受持ち数(10月平均)

診療科	常勤医師	目標	平均	診療科	常勤医師	目標	平均
内科	A医師	25床	28.7床	外科	G医師	10床	8.2床
	B医師	20床	16.3床		H医師	10床	1.7床
	C医師	8床	2.7床	整形外科	I医師	12床	7.9床
	D医師	10床	4.6床		J医師	12床	7.5床
	E医師	10床	5床	泌尿器科	K医師	10床	6.3床
回復期リハ	F医師	33床	21.6床				

▼救急患者の受入状況及び断り数

		7月	8月	9月	10月
受入状況	救急搬送	39件	40件	27件	22件
	直接来院	123件	178件	160件	171件
断り状況	救急要請	2件	5件	3件	3件
	直接来院	1件	3件	3件	5件
	電話	9件(※)	33件	36件	31件

※ 7月の断り状況(電話)は、7/10以降の記録。

※ 断りについては、専門外受診の依頼(内科医に外科の処置など)が含まれる。

※ 断り状況(電話)の中には、診療所からの紹介も含まれている。

5) 職員体制と収支状況

▼職員体制

職 種	10月31日時点		7月1日時点	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
医師	19 名	77 名	19 名	57 名
看護師	102 名	32 名	104 名	32 名
薬剤師	5 名	2 名	5 名	2 名
診療放射線技師	6 名	— 名	6 名	— 名
臨床検査技師	5 名	2 名	5 名	2 名
視能訓練士	1 名	2 名	1 名	2 名
管理栄養士	3 名	— 名	3 名	— 名
理学療法士	21 名	— 名	22 名	— 名
作業療法士	8 名	— 名	8 名	— 名
言語聴覚士	5 名	— 名	5 名	— 名
臨床工学技士	3 名	— 名	3 名	— 名
社会福祉士	2 名	1 名	2 名	— 名
介護支援専門員	4 名	— 名	4 名	— 名
事務職	31 名	20 名	32 名	21 名
看護助手	10 名	15 名	10 名	14 名
合 計	225 名	151 名	229 名	130 名

●常勤医師(内訳)

循環器内科	1名
消化器内科	4名
外科	2名
小児科	1名
産婦人科	1名
整形外科	2名
泌尿器科	2名
放射線科	1名
麻酔科	1名
リハビリテーション科	1名
健診科	3名

▼収支状況

(単位:円)

歳入	当初予算	予算目安(※1)	7月実績	8月実績	9月実績
入院収益	1,244,583,000	138,287,000	131,178,672	135,040,919	120,398,718
外来収益	579,450,000	64,383,000	58,651,741	57,918,932	55,471,776
健診収益	114,858,000	12,762,000	17,579,995	16,174,763	15,162,977
支援センター収益	66,444,000	7,383,000	6,340,922	5,807,953	5,851,395
その他医業収益	177,809,000	19,756,000	4,118,435	3,372,290	3,546,826
医業外収益(※2)	213,741,000	23,749,000	152,205	900,096	960,121
合計	2,396,885,000	266,320,000	218,021,970	219,214,953	201,391,813

歳出	当初予算	予算目安	7月実績	8月実績	9月実績
給与費(※3)	1,589,577,000	176,620,000	139,977,027	137,003,978	133,460,620
材料費	300,358,000	33,373,000	22,416,346	22,182,696	34,005,493
経費	428,773,000	47,641,000	89,706,335	27,204,416	29,954,400
減価償却費(※4)	64,023,000	7,114,000	0	0	0
研究研修費	1,596,000	177,000	0	33,534	41,408
支払利息	1,728,000	192,000	0	0	54,396
雑損失	830,000	92,000	0	18,424	55,950
予備費	10,000,000	1,111,000	0	0	0
合計	2,396,885,000	266,320,000	252,099,708	186,443,048	197,572,267

収支差	△ 34,077,738	32,771,905	3,819,546
累計	△ 34,077,738	△ 1,305,833	2,513,713

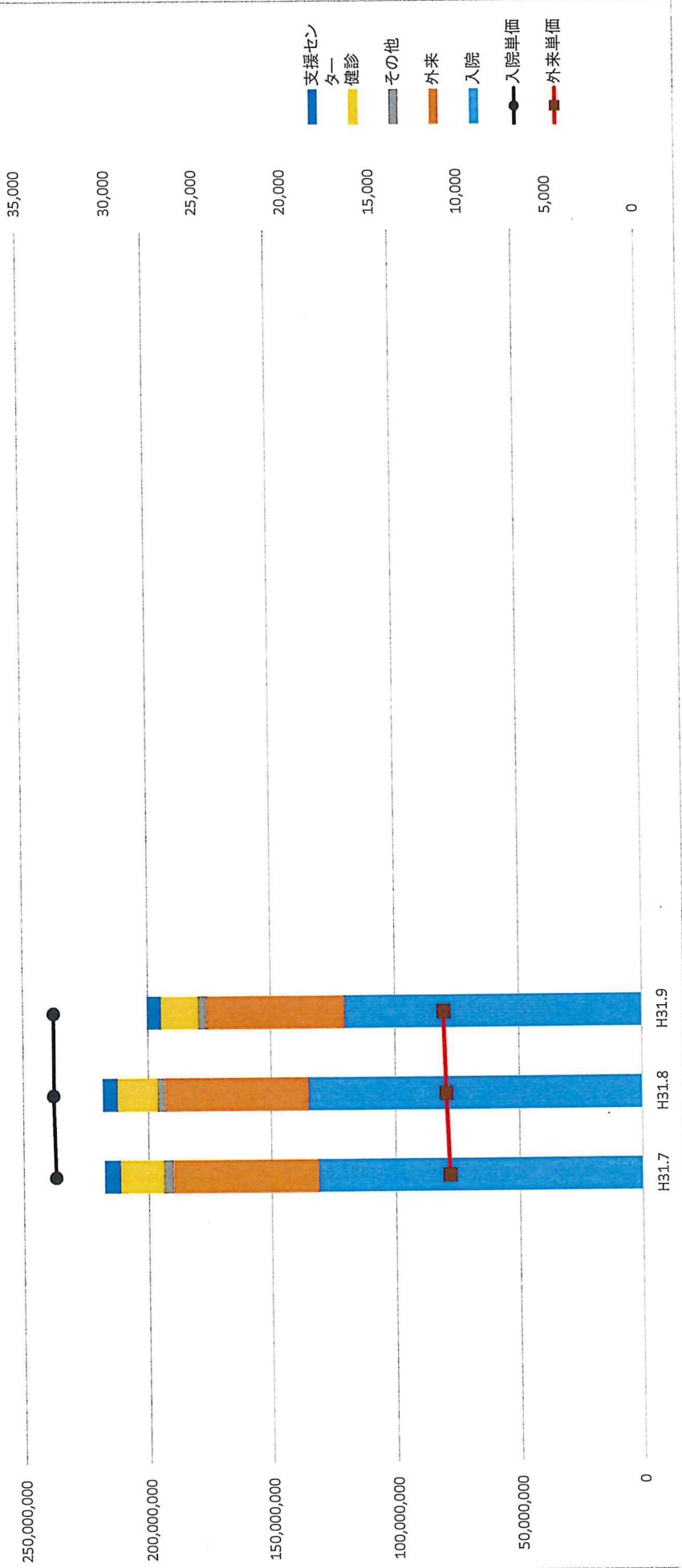
※1 予算目安は、当初予算額の1月当たり平均値であり概算。

※2 その他医業収益及び医業外収益については、一般会計からの繰入金約290,000千円を含む。

※3 給与費は、期末勤勉手当として約150,000千円(12月)、賞与引当金として約100,000千円(3月)を支出予定。

※4 減価償却費は、3月に全額執行予定。(財源は医業外収益の長期前受金戻入約60,000千円を見込む)

市立野洲病院売上実績

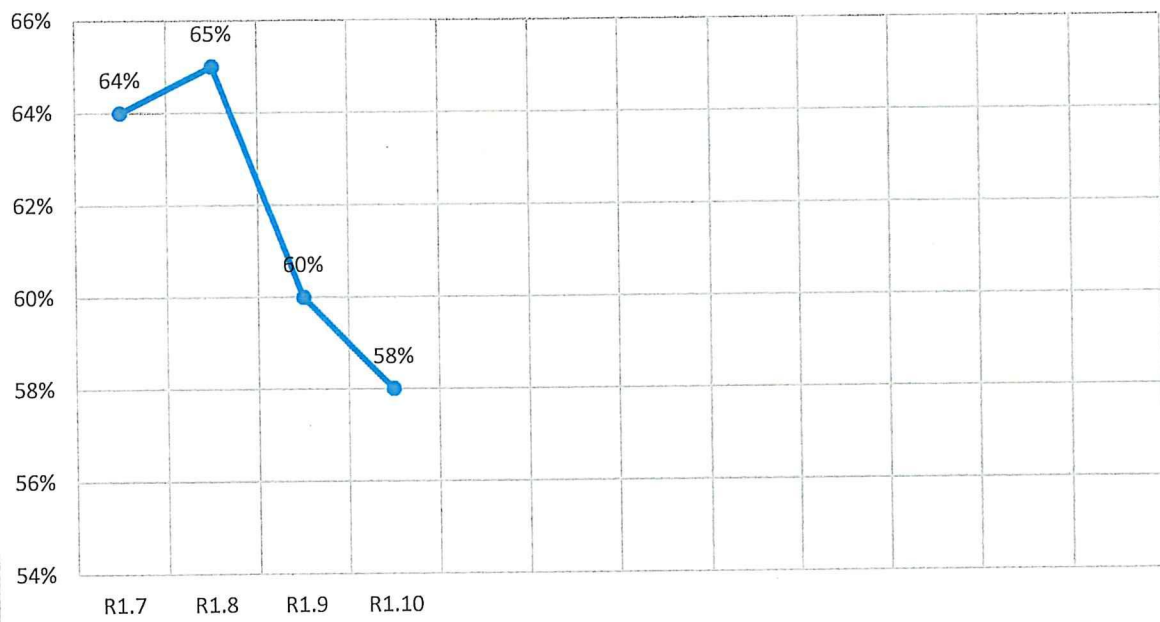


(単位:円・人)

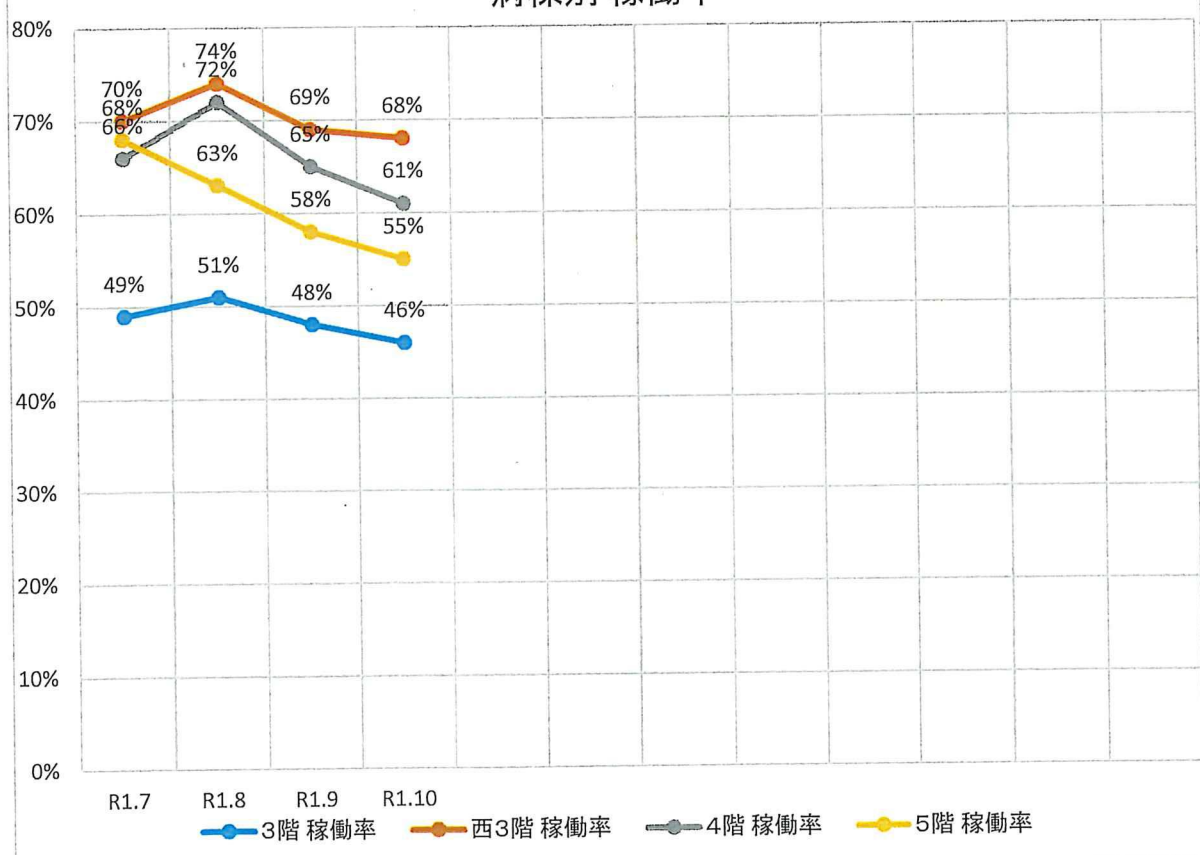
	R1.7	R1.8	R1.9
入院	131,178,672	135,040,919	120,398,718
外来	58,651,741	57,918,932	55,471,776
その他	4,118,435	3,372,290	3,546,826
健診	17,579,995	16,174,763	15,162,977
支援センター	6,340,922	5,807,953	5,851,395
合計	217,869,765	218,314,857	200,431,692
入院単価	33,167	33,287	33,274
外来単価	10,926	11,110	11,236
常勤医師数	19	19	19

- 4病棟 48床 (外科系;主に整形外科、眼科 その他内科)
- 3階病棟 55床 (内科系)
- 西3階病棟 55床 (外科系;主に外科、泌尿器科 その他内科)
- 4階病棟 55床 (外科系;主に外科、泌尿器科 その他内科)
- 5階病棟 41床 (回復期リハビリ)

病床稼働率<全体>

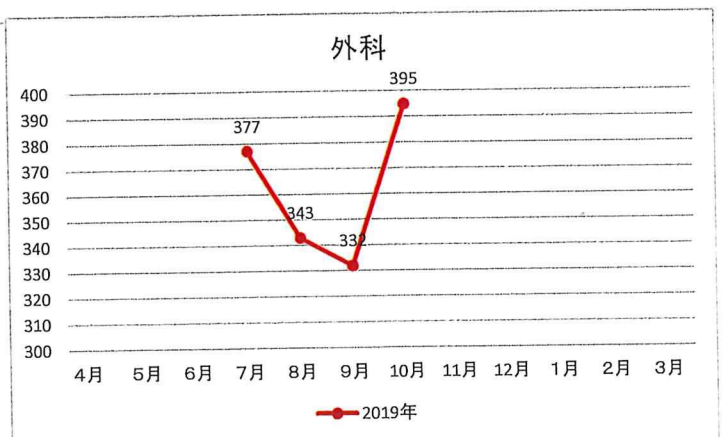
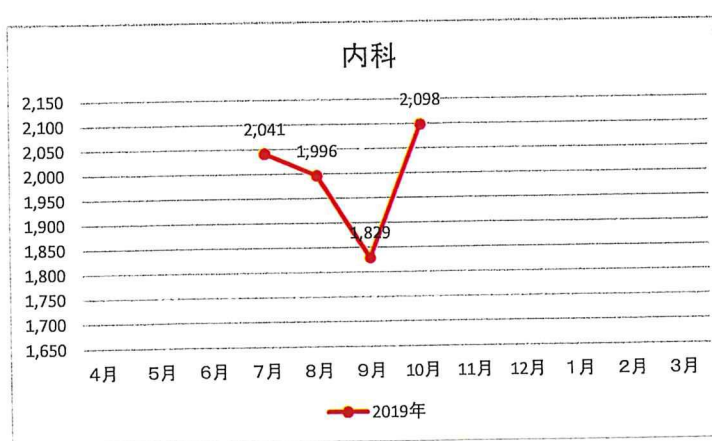


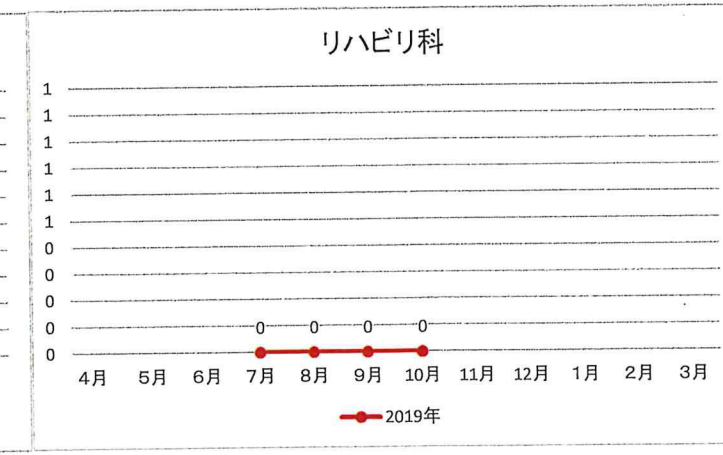
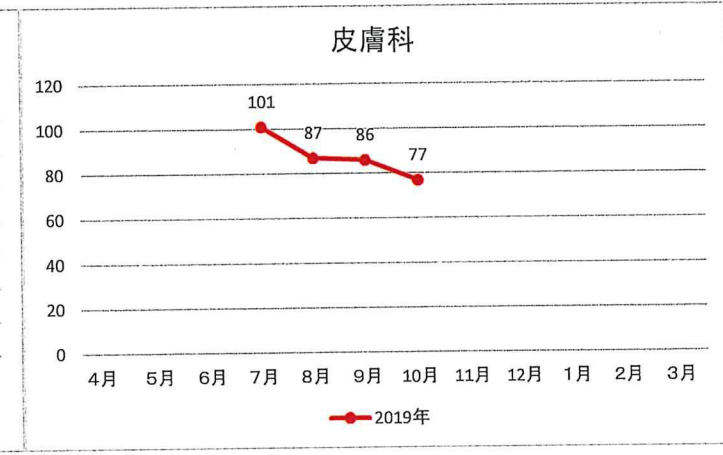
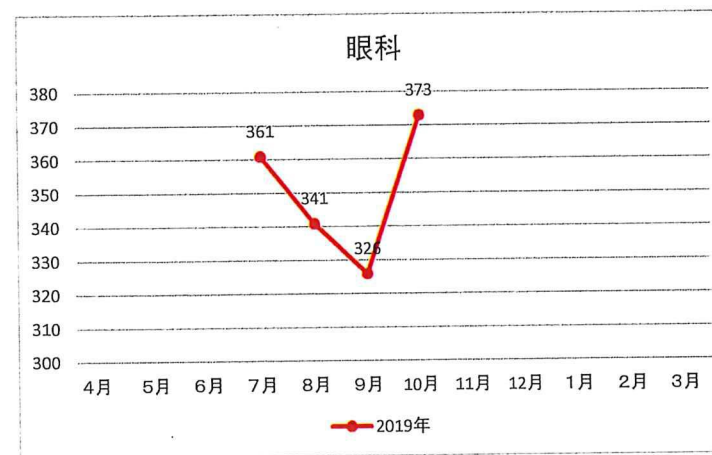
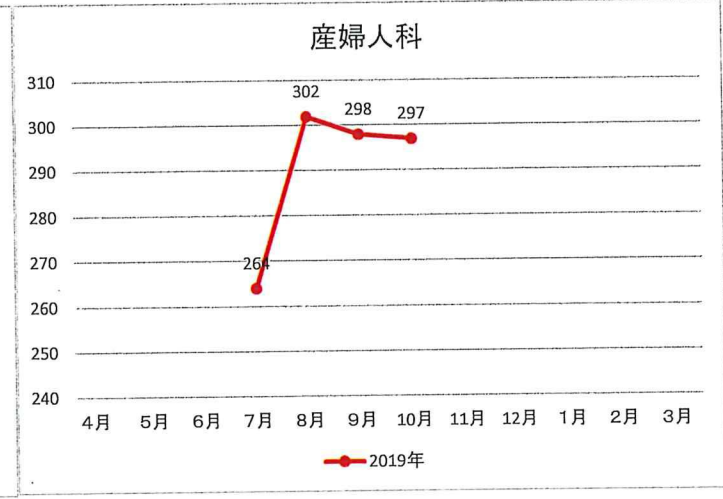
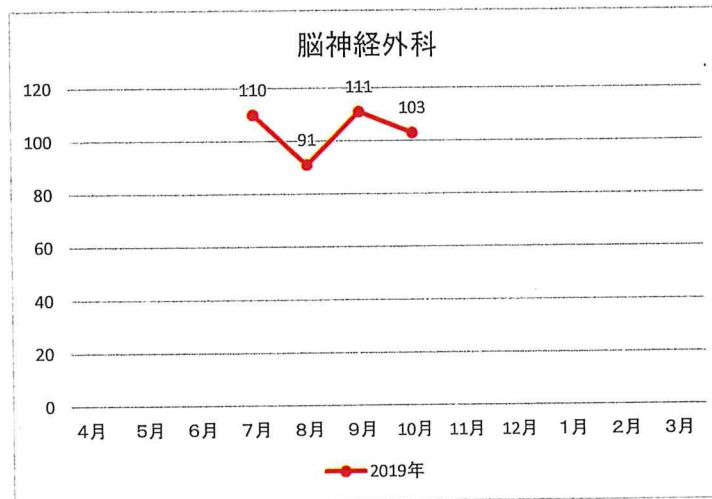
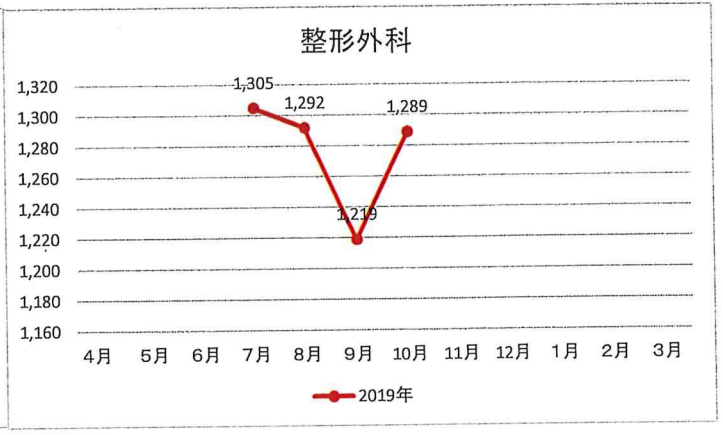
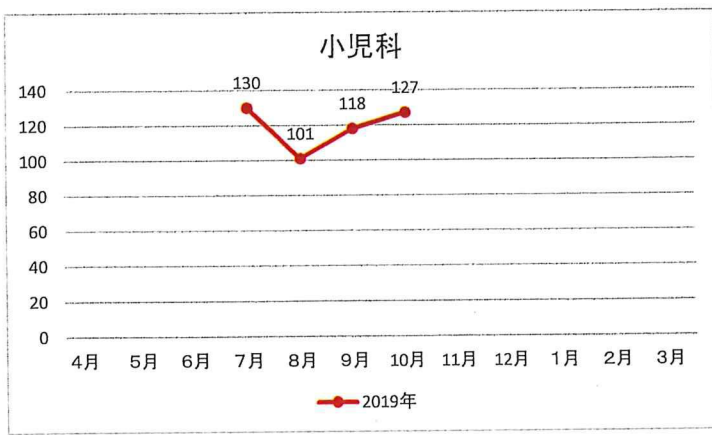
病棟別稼働率



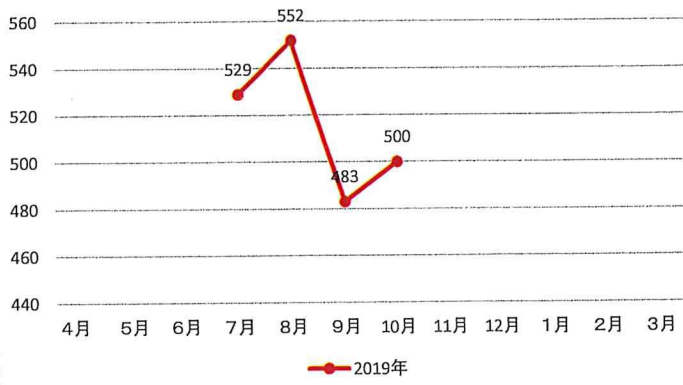
外来患者数の推移(診療科別)

2019年度	内科	外科	小児科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ科	透析	麻酔科	計	健診
4月														
5月														
6月														
7月	2,041	377	130	1,305	110	264	361	101	357	0	529	21	5,596	806
8月	1,996	343	101	1,292	91	302	341	87	413	0	552	9	5,527	665
9月	1,829	332	118	1,219	111	298	326	86	365	0	483	12	5,179	735
10月	2,098	395	127	1,289	103	297	373	77	394	0	500	11	5,664	765
11月														
12月														
1月														
2月														
3月														
合計	7,964	1,447	476	5,105	415	1,161	1,401	351	1,529	0	2,064	53	21,966	2,971
1日平均	96.0	17.4	5.7	62.3	10.4	14.0	16.9	18.5	18.4	0.0	19.8	2.4	264.7	35.8

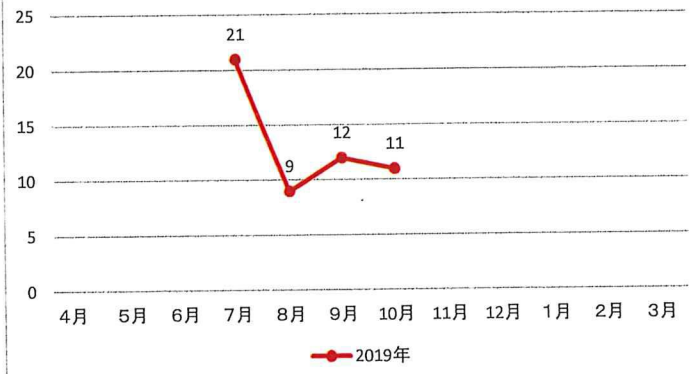




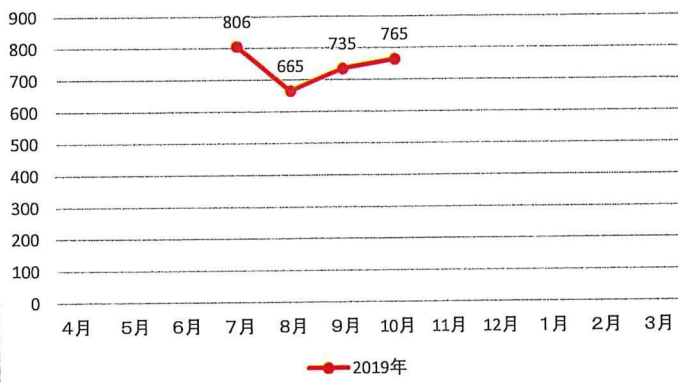
透析



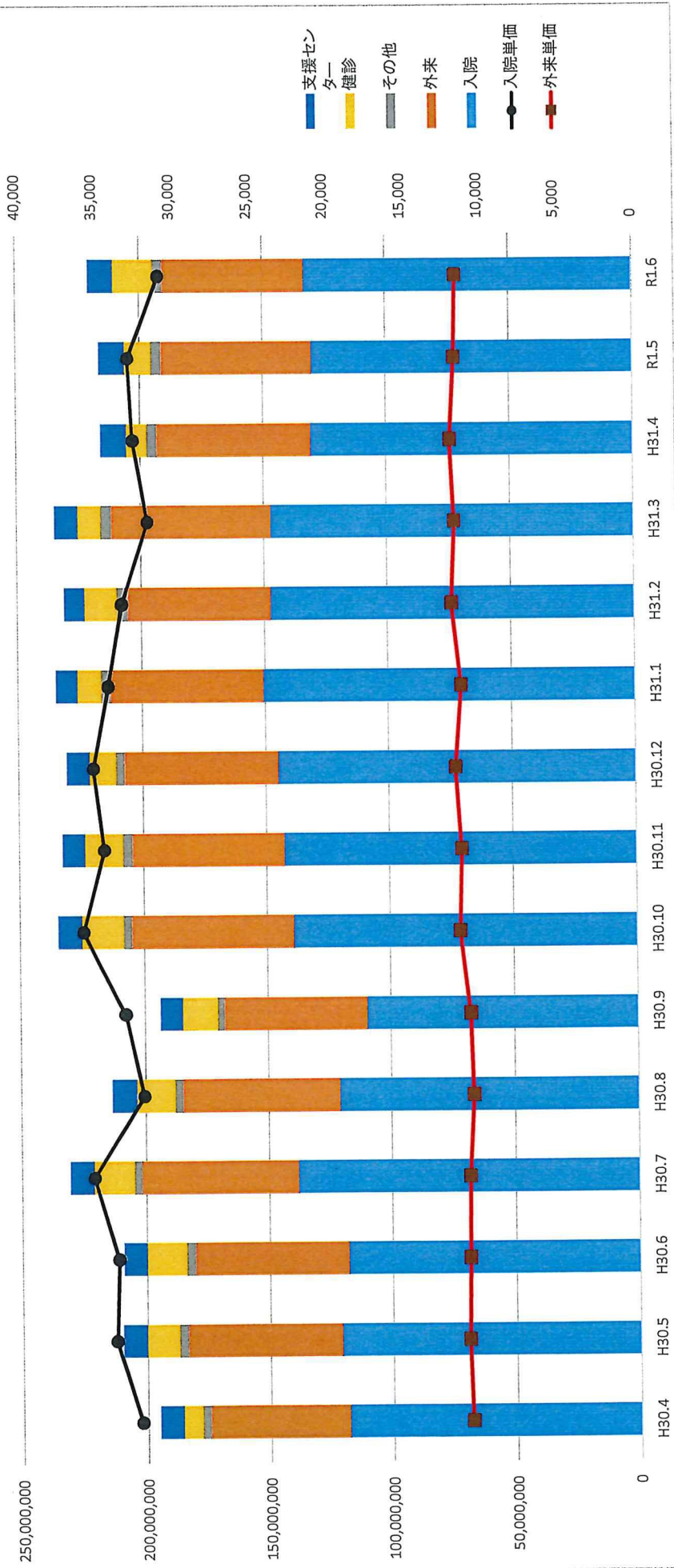
麻醉科



健診



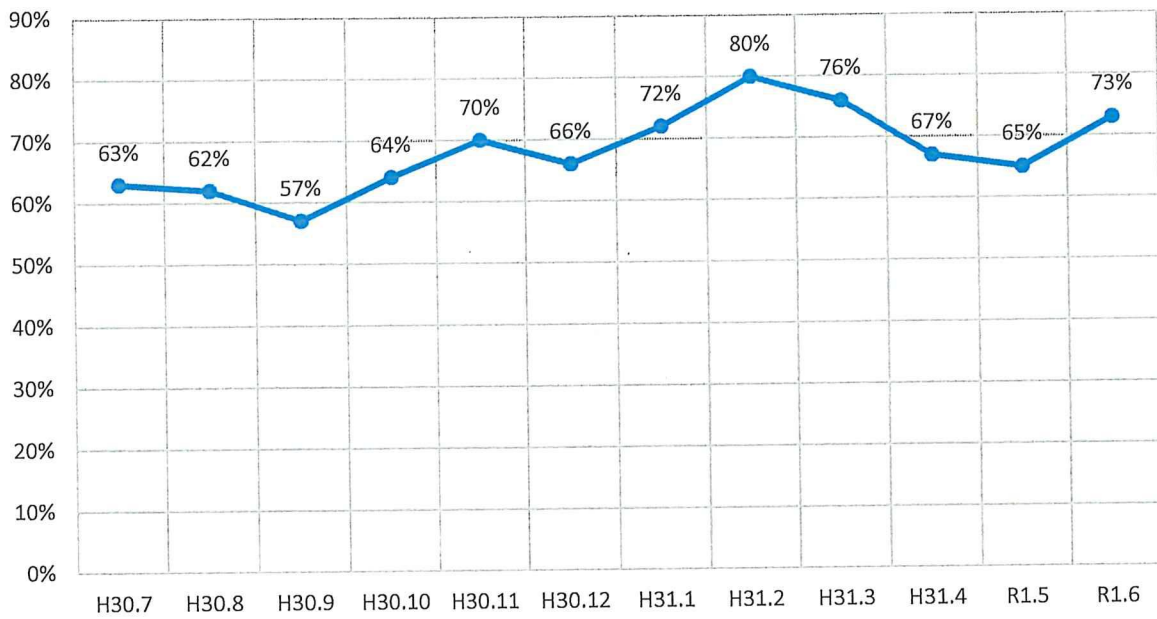
(参考) 御会上売上実績(直近1年)



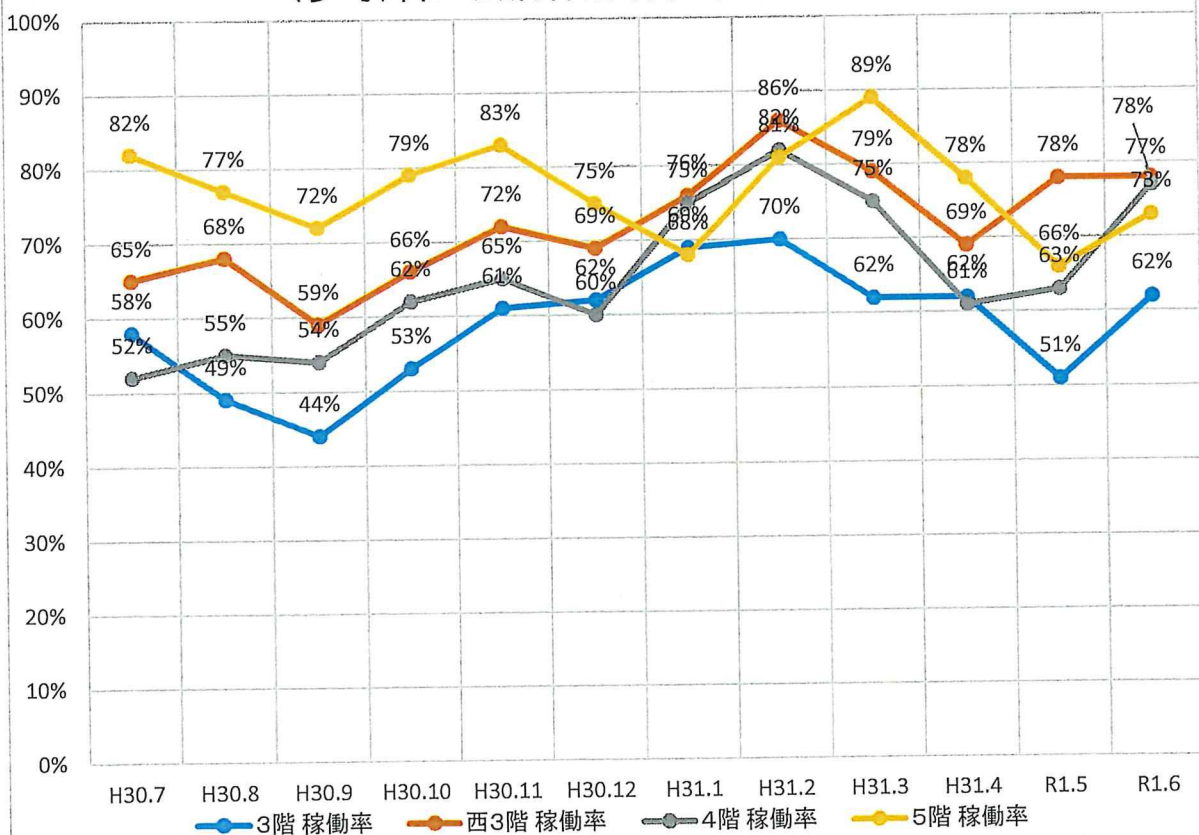
	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
入院	117,664,797	120,606,557	117,667,582	138,113,320	120,781,228	109,493,808	139,155,135	142,681,710	144,917,932	150,759,209	147,536,973	147,318,416	130,549,725	130,107,070	133,104,399
外来	56,937,942	62,734,295	62,618,530	63,515,461	63,853,250	58,185,386	65,568,889	61,536,712	62,147,121	61,540,321	57,744,145	64,115,748	62,630,829	60,956,782	57,301,208
その他	3,343,813	3,688,136	3,548,760	3,153,230	3,463,826	2,920,649	3,602,669	4,066,246	3,436,068	3,904,683	4,308,022	4,461,399	4,162,780	4,246,908	4,117,034
健診	7,516,401	13,034,393	16,029,838	15,992,148	15,348,037	14,042,386	16,574,313	15,036,996	10,823,442	9,767,351	13,105,091	9,376,724	8,120,850	10,683,270	15,687,326
支援センター	9,577,839	9,571,533	9,247,450	9,630,383	9,807,814	8,997,916	9,754,114	9,162,970	9,230,679	8,756,109	8,285,921	9,481,514	10,174,571	10,225,222	10,166,595
合計	195,040,792	209,634,914	209,112,160	230,404,542	213,254,155	193,640,145	234,655,120	232,484,694	230,555,242	234,727,673	230,990,152	234,753,801	215,638,755	216,219,252	220,376,562
入院単価	32,353	33,925	33,746	35,285	32,084	33,212	35,874	34,487	35,157	34,149	33,239	31,578	32,473	32,763	30,778
外来単価	10,901	11,081	11,004	10,982	10,688	10,855	11,493	11,353	11,703	11,308	11,890	11,662	11,927	11,644	11,512
常勤医師数	20	20	20	20	20	20	18	18	18	18	18	18	18	21	21

(単位:円・人)

(参考) 御上会病床稼働率<全体> (直近1年)



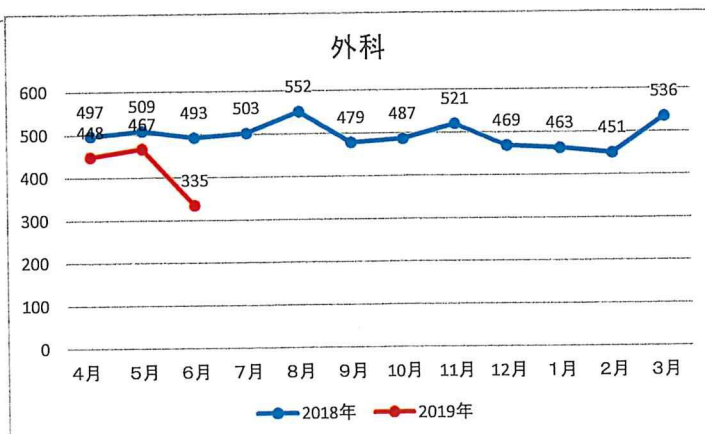
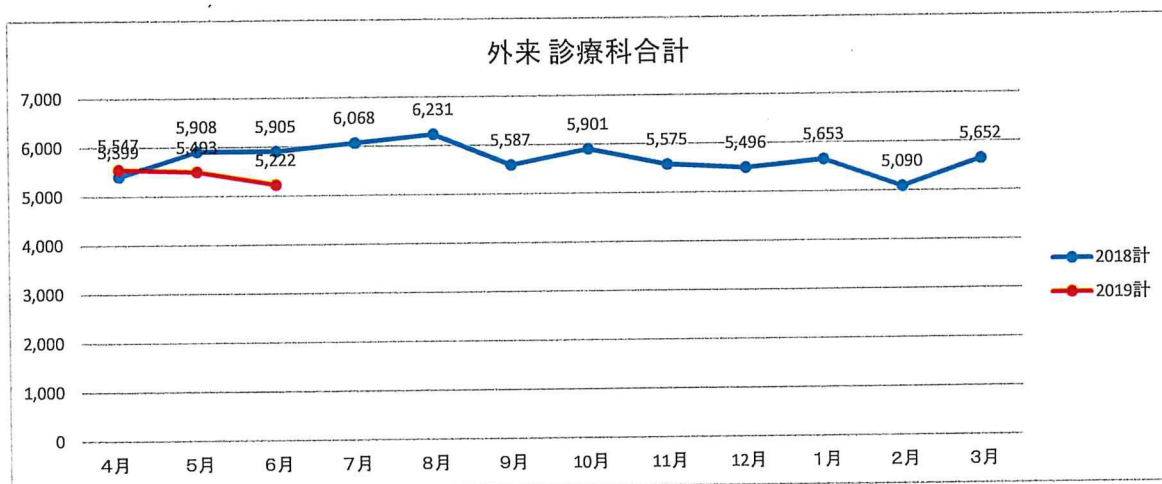
(参考) 御上会病棟別 稼働率(直近1年)



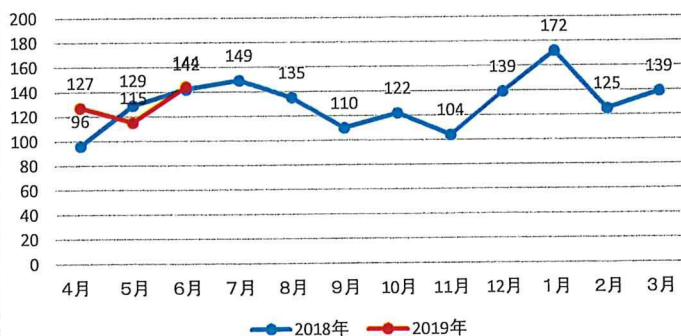
外来患者数の推移(診療科別)

2018年度	内科	外科	小児科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ科	透析	麻酔科	計	健診
4月	1,909	497	96	1,228	139	254	309	125	305	16	486	35	5,399	310
5月	2,008	509	129	1,410	149	258	365	147	345	21	525	42	5,908	559
6月	2,043	493	142	1,376	166	265	371	160	316	17	518	38	5,905	718
7月	2,194	503	149	1,440	147	308	337	66	346	31	504	43	6,068	707
8月	2,165	552	135	1,522	157	304	398	55	366	31	520	26	6,231	643
9月	2,156	479	110	1,242	150	306	257	79	306	18	451	33	5,587	729
10月	2,075	487	122	1,334	165	315	365	79	424	13	504	18	5,901	785
11月	2,053	521	104	1,251	108	282	276	67	384	11	497	21	5,575	690
12月	2,033	469	139	1,192	103	294	293	70	372	11	503	17	5,496	535
1月	2,213	463	172	1,196	103	284	274	65	342	8	513	20	5,653	444
2月	1,923	451	125	1,150	80	247	257	78	303	5	453	18	5,090	695
3月	2,006	536	139	1,333	128	279	288	77	368	3	466	29	5,652	443
合計	24,778	5,960	1,562	15,674	1,595	3,396	3,790	1,068	4,177	185	5,940	340	68,465	7,258
1日平均	101.5	24.4	6.4	65.0	8.9	13.9	15.6	13.3	17.5	1.8	19.4	4.7	280.5	29.7

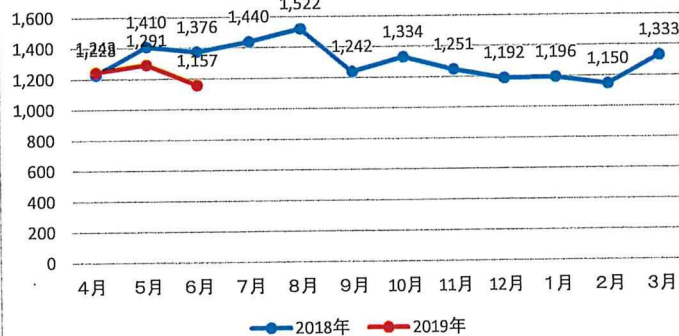
2019年度	内科	外科	小児科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ科	透析	麻酔科	計	健診
4月	2,014	448	127	1,243	117	301	347	86	355	4	502	3	5,547	321
5月	1,980	467	115	1,291	94	270	306	82	336	6	540	6	5,493	490
6月	1,939	335	144	1,157	129	265	323	89	347	1	485	8	5,222	723
7月														
8月														
9月														
10月														
11月														
12月														
1月														
2月														
3月														
合計	5,933	1,250	386	3,691	340	836	976	257	1,038	11	1,527	17	16,262	1,534
1日平均	100.6	21.2	6.5	63.6	8.3	14.2	16.5	13.5	17.6	0.6	19.6	0.9	275.6	26.0



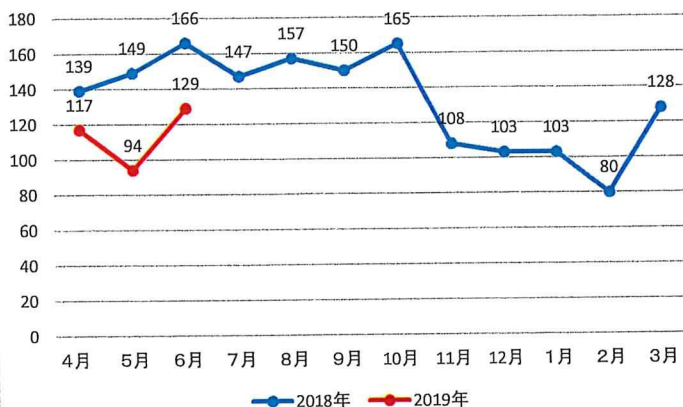
小児科



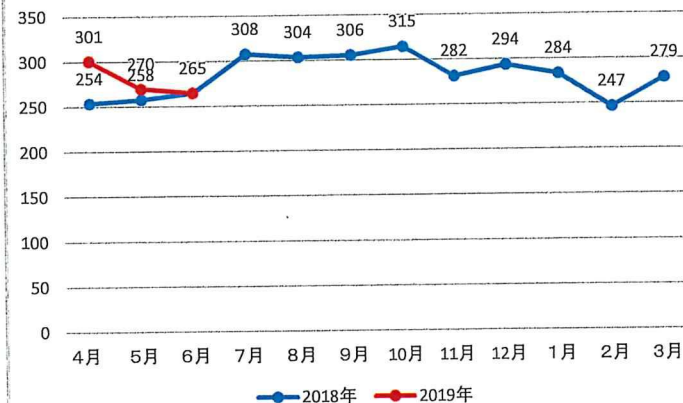
整形外科



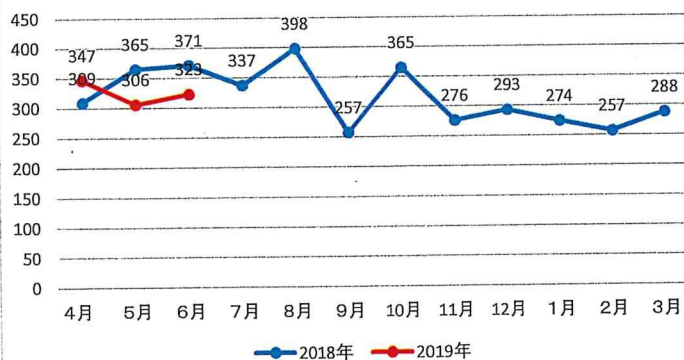
脳神経外科



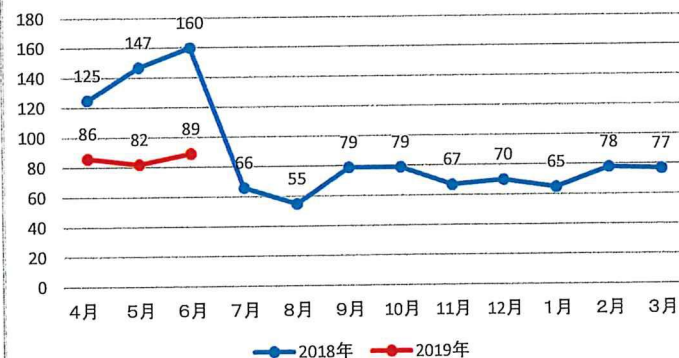
産婦人科



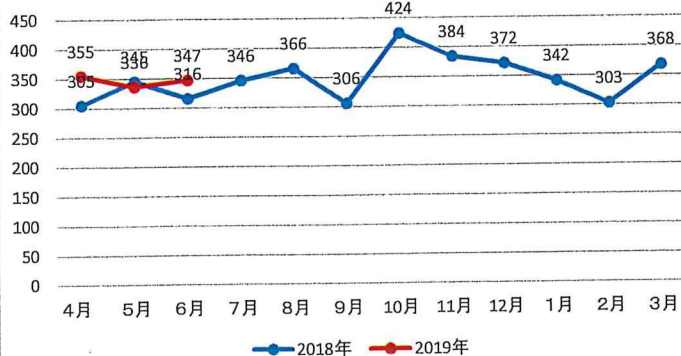
眼科



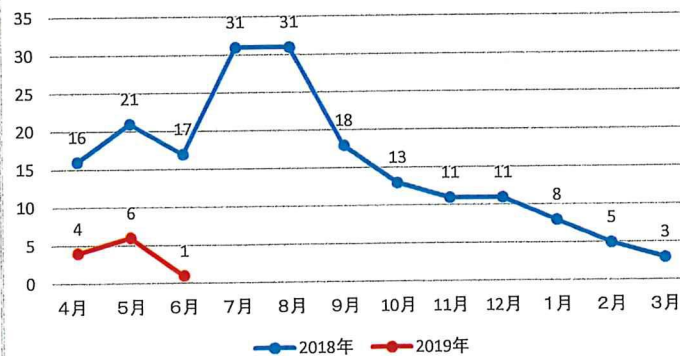
皮膚科



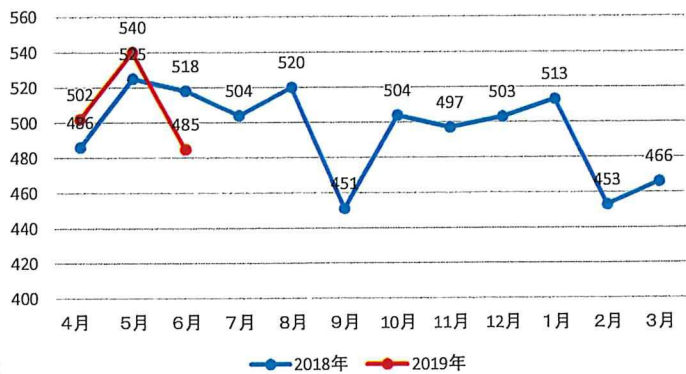
泌尿器科



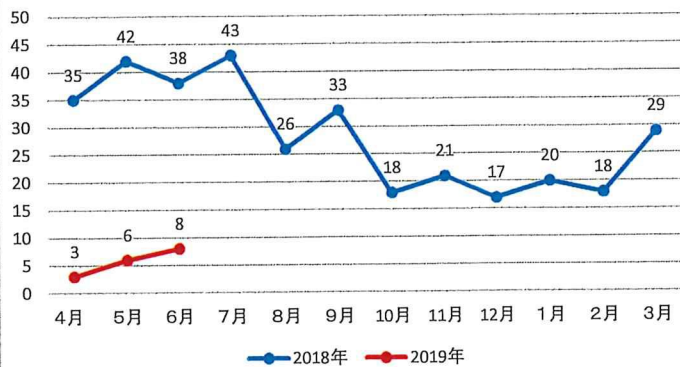
リハビリ科



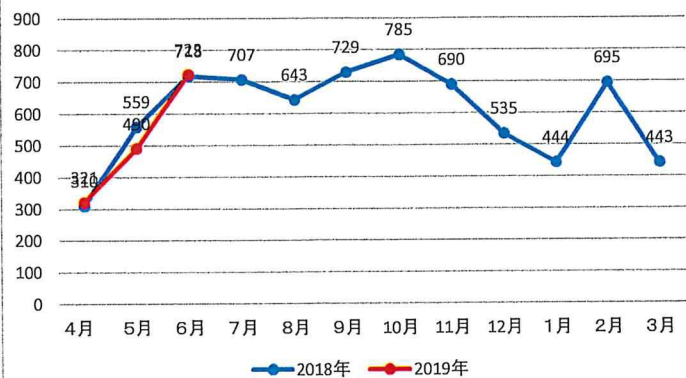
透析



麻醉科



健診



野洲市民病院整備工事について

1. 整備工事スケジュール

【市民病院整備事業】工事計画工程表

20191113野洲市民病院整備事業特別委員会資料

年度	平成31年度												令和2年度												令和3年度												令和4年度					
年	令和元年(2019年)						令和2年(2020年)						令和3年(2021年)						令和4年(2022年)																							
月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26											
						11	12																																			
						11	12																																			
	6			9		11	12																									12										
	28			27		14	15																									22										
実施設計完了	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
				公告		入札↓契約																										工事完了予定	開院準備									

2. 課題と対応について

① 設計業務について

これまで、新病院の設計に当たっては、最大限機能的な施設とするために医療従事者及び専門家の意見、提案及び確認を行う方針で進めてきました。このため、設計段階で旧野洲病院に照会をかけるとともに、同病院を通じて関係機関の意見等も得たうえで実施設計を行ったことを前提に去る6月28日に業務を完了させました。

しかしながら、本年7月から市が市立野洲病院を開院し、運営したことで、市職員となった医師及び医療専門職に直接確認したところ、主に旧野洲病院の組織内において情報が十分共有されずに滞っていたこと等が判明しました。

改めて病院スタッフに対してヒアリングを行ったところ、諸室の配置等に変更の要望が出されました。このことから、工事入札の延期も選択肢として検討しましたが、要望の内容は、通常の工事進捗においても起こりうるもので、工事への影響はなく、工期内での対応が可能であることから、工事入札は予定通り進めています。

ただし、工事監理業務の中で設計の修正に係る費用についての予算措置が必要となります。

② 工事監理業務について

工事監理業務について、当初の計画では、監理者は現場に常駐しないこと（定期監理）としていましたが、工事着手後は、設計図書との整合確認、施工者との詳細な打合せや関係所管庁等との調整、各工種の出来形検査等を迅速かつ的確に対応するために常駐監理とする必要があります。

従って、本業務は、病院棟と駐車場棟の建築工事の監理を行うものであり、建築規模、施工内容等から監理者の現場常駐に係る費用についての予算措置が必要となります。

③ 医療機器・システム更新について

御上会からの事業承継において医療機器・システムは、運営上の支障がないよう健全な状態であることを前提としていましたが、計画的な機器等の更新が適正に行われていない状況であることが判明しました。

このことから、7月以降、現計予算において、保守対応期間が終了していた医療情報システムの更新を優先に行いましたが、今後の医療機器の整備に係る費用についての予算措置が必要となります。

3. 予算措置

① 監理業務委託料について、予算補正として、債務負担行為（令和元年度～令和3年度）の限度額変更を11月28日に開会される市議会定例会において提案するものです。

《債務負担行為限度額：野洲市民病院整備工事監理業務委託》

現計予算

変更後

75,015千円 ⇒ 116,815千円（41,800千円の増額）

※ 本年度予算の増額はなく、令和2年度から3年度における債務負担行為限度額の増額となります。

② 医療機器整備について、予算補正として、11月28日に開会される市議会定例会において提案するものです。

《機器備品購入費》

現計予算

変更後

95,832千円 ⇒ 145,832千円（50,000千円の増額）

※ 財源には、病院事業債（充当率100%）を活用します。

野洲市民病院整備工事 杭の選定について

◆構造計画 基本方針

- ・今後発生する恐れのある大地震後に構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて病院としての機能確保が図れる計画とします。
- ・「官庁施設の総合耐震計画基準」に基づき、構造体の大地震に対する耐震安全性を確保します。
- ・上部構造は建築計画に整合するとともに、安全性、耐久性、経済性、施工性を考慮した計画とします。
- ・基礎は敷地および地盤調査等に基づき、建物規模、構造種別、施工性を考慮した地盤性状に応じた形式とします。また、上部構造に対して耐力、耐久性、経済性のバランスのとれた計画とします。

病院本棟	I 類	大地震後、構造体の補強をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
駐車場棟 連絡通路	III類	大地震により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。

◆杭工法の検討結果

基本設計では、場所打ちコンクリート杭を想定していましたが、実施設計において荷重条件などの詳細な条件を精査したうえで構造計算を行い、改めて本建物に最適な杭工法を比較検討しました。

結果、計画地の地盤性状に対して施工が可能で、経済性（杭コスト、残土処分費）および環境性（無残土、低騒音・低振動）に優れる『回転圧入鋼管杭工法』が最適であるとして選択しました。

工法名		①場所打ちコンクリート杭 (オールケーシング併用アースドリル工法)	②鋼管杭 (回転圧入工法)
工法概要		ケーシングを回転圧入して掘削を行い、土砂の排出後、鉄筋かごを建て込み、コンクリートを打ち込むことで杭体を構築する工法。	鋼管杭の先端に螺旋状の羽根を取り付け、全旋回機等で鋼管を回転圧入する工法。
特徴		杭全長にケーシングを使用するため、孔壁の崩壊がない。 岩盤や礫等の固い地盤でも掘削が可能。	杭を回転することで掘削を行うため、残土が発生しない。 回転圧入による低騒音、低振動な杭施工
本計画地における適正		○ 地盤調査の結果、中間層に粒径の大きな礫が堆積しているが、ケーシングを使用して掘削を行うため、本計画地の各種地層に対して施工が可能である。	○ 地盤調査の結果、中間層に粒径の大きな礫が堆積しているが、正回転、逆回転を繰り返して回転圧入を行うことで、本計画地の各種地層に対して施工が可能である。
工期	材料発注～施工まで	○（約 1.5 ヶ月）	△（約 3 ヶ月）
	施工	○（約 2 ヶ月）	○（約 2 ヶ月）
コスト		△（110%）	○（100%）
残土		△（多い）	◎（なし）
振動・騒音		△（他工法に比べて振動・騒音は大きい）	○（振動・騒音は少ない）
総合評価		△	○